

令和4年度 第4回 曳馬小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和5年2月3日(金) 午後2時00分から 午後3時30分
- 2 開催場所 曳馬小学校 多目的ホール
- 3 出席委員 鈴木厚(会長)、飯尾忠弘(副会長)、川井啓介、小楠和子、中田篤志、飯尾智弘、池村俊典(学校支援コーディネーター)、丸茂早織、中津川涼
- 4 欠席委員 加藤美智子
- 5 オブザーバー 大平(曳馬協働センター)
- 6 学校 竹内孝夫(校長)、花井清孝(教頭)、影山重広(CS担当)、内堀邦子(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 内堀邦子(CSディレクター)
- 9 議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、池村委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

1. 「学校関係者評価」について
 - ・ 学校の自己評価と改善策について(影山主幹教諭)
 - ・ 学校の改善策についての意見(会長)
2. 来年度の学校運営の基本方針について(竹内校長)
3. 学校運営協議会自己評価について(鈴木厚会長)
4. 夢やらまいか事業報告(花井教頭)

10 会議記録

司会の花井教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。オブザーバーとして、曳馬協働センターの大平さん、主任児童員の中村佐知子さんに参加していただいた。

1. 「学校関係者評価」について(資料参照)

アンケート結果(別紙参照)を見ながら、学校の現状を理解し熟議していきたい。保護者の評価と子どもの評価に差があるのはどうしたら良いか意見ををお願いしたい。(鈴木厚会長)

・学校の自己評価と改善策について(影山主幹教諭)

学校に対する保護者と子どもの評価:

子どもと保護者にアンケートを行ったが、同じアンケートを先生にも行えば良かった。

アンケート結果において、子どもはおおむね良い評価であったが、保護者の評価と子どもの評価に大きな差があることがわかった。特にあいさつ、伝える力、家庭学習、将来への行動についての項目は差が大きかった。

自由記述アンケート結果について

- ◇ 新しい学年になってできることが増えている。
- ◇ 楽しく学校に通っている。不安を抱えている子が30%以上いる。
- ◇ 学校行事内容が良い。
- ◇ 子どもたちの言葉使いが出来ていない。
- ◇ 旗振りから見てあいさつが出来ていない。
- ◇ 学校で何か悩みを抱えたときに相談できる仕組みが欲しい。
- ◇ 授業を積極的に取り組めているので、家庭でも取り組んでいきたい。
- ◇ 家庭学習の習慣をつけるため、宿題が欲しい。
- ◇ ブログ・学年だよりを増やして欲しい。

委員は子どもと毎日接しているわけではないので、アンケートを参考にしていきたい。
(鈴木厚会長)

子どもたちは、頑張っている・出来ているという評価に対し、保護者は高い評価が得られていない事について、どう改善していくか。

将来に向けた努力について、評価の差が大きいのはなぜか。何か具体的な改善策があるのか。(飯尾忠弘副会長)

キャリアパスポートを活用して差を埋めていきたい。これは年度末に保護者の目に届くことになるので、そこで保護者の理解が得られるのではないか。また、文科省から学校ごとに将来に向けて付けさせたい力、目標を決める事とされている。曳馬小学校には、キャリア教育「◎・◎・◎・◎」がある。この「◎・◎・◎・◎」は子どもには定着している。この内容については来年度精査していこうと思っている。今後保護者の理解を得られるようにアピールしていきたい。
(竹内校長)

保護者の意見は多種多様。理解を得ることは大変だと思う。(飯尾忠弘副会長)

保護者が「学校に何を求めていること」をどう捉えるか。例えば家庭学習についての宿題の量を増やして欲しいという要望に対して、各家庭の事情や各々の子どもの様子などでできることが違うことを考慮し、学校として要望全てに応えていく必要が無いのではないか。評価が高い項目は目に見えていること。目に見えていない項目に対して保護者は不安を感じ要望を出しているのではないか。体力作りを頑張っているが、もう少し勉学に励んで欲しいと感じている保護者が60%以上いるというアンケート結果の捉え方をすれば良いのではないか。そのもう少し勉強をして欲しいという気持ちが、「家庭学習を増やして欲しい」という要望に表れている

のではないか。(鈴木厚会長)

キャリア教育とは未来・社会・夢に繋がっていく力を育てることだが、学年によって捉え方が違う。例えば、1年生の将来に向けての努力は「目先の将来についての努力」。6年生の将来に向けての努力は「大人になっていく未来に向けての努力」なので、文言によって保護者の受け取り方が違うのではないか。(竹内校長)

1年生の将来にむけての努力は、授業40分間座って聞く「目先の将来についての努力」等のことで、6年生の将来に向けての努力は「大人になっていく未来に向けての努力」のこと。これらが同じ質問になってしまったため、今回の結果から親の要望等が汲み取りにくかった。アンケート調査の質問、文言がよくなかったのではないか。(鈴木厚会長)

各学年の具体的なキャリア教育を充実させていきたい。このキャリア教育の具体的目標を来年度見直し、周知していきたい。(竹内校長)

小学校卒業までの経験や「将来の夢」の作文を書くことが、将来に大きく影響を及ぼすのではないか。(飯尾忠弘副会長)

授業の中でキャリア教育を意識して、新しい単元に入るとき、この学習で何を学ぶか、その力は生活の中でどのように役に立つか未来のどんな力に繋がっていくのか意識して主体的に勉強に取り組むように指導している。(花井教頭)

3校のコーディネーターを行っている。その視点から見て、上島小学校のアンケートでは、保護者と先生へ同じ質問でどのぐらいの評価になっているか、過去2年分並べて比較検証している。その方がどのぐらい改善できたかわかりやすいのではないか。キャリア教育とは何かを保護者に認知してもらうことは大事。子どもが認知しているキャリア教育の具体的な内容が保護者は認知していないことによって評価の違いが生まれているのではないか。(池村委員)

令和3年と令和4年は同じアンケート内容で調査を行ったが、令和4年は先生へアンケート調査を行っていない。(影山主幹教諭)

上島小学校の結果はここまで差が無い。保護者にどのように伝えるか、今後わかりやすく伝えていけば家庭での協力をあおげるのではないか。(池村委員)

校区を意識して、2年前に上島小学校とアンケート内容を合わせた。(影山主幹教諭)
支援の体制を担当制からチーム制にして、複数の人が関わって、支援を進めて行こうとしている。
就学支援も含めて、チーム制にしていく。2月13日の就学時説明会の時に説明していこうと

思う。入学式のときには窓口がどの先生かも伝えていくつもり。1年生には特に教育相談を厚くしようとしている。(竹内校長)

令和5年度の新1年生には4月希望面談を行う予定。新2年生から新6年生には教育相談を1週間の期間を設けて行う予定。

コロナがおさまったらふれあいルームを再開しようと思っているが、その仕組みを教職員も理解をしていないので、そこも体制を整えていきたい。(影山主幹教諭)

改善方法について書かれているが、ブログについて、2週間に1度の更新をすると目標を掲げられているが、激務の現状を更に悪化させるのではないのか。再生回数(普段50カウント、行事200カウント)を考慮して、行事等の時に更新を増やし、それ以外の更新は適宜行うのでも良いのではないのか。働き方改革の観点も考慮した上での目標を立てることも大事なのではないのか。具体的な数字を努力目標にしてしまうと実現出来ないと困るのではないのか。(池村委員)

発信することにより、保護者や地域から理解を得られて、協力のリターンがあるため情報発信を進めていきたいが、教職員の現在の激務に拍車がかからないようにしていきたい。先生方への配慮の言葉がありがたい。(竹内校長)

学校行事や参観会をみると授業内容を工夫していることがよくわかるので、先生方が授業に注力していることが理解でき、ありがたいと思った。先生の普段の激務を想像できるので、保護者の理解を得るための仕事をさらに増やすことがベストとは思えない。保護者は自分たちが過ごした小学生時代のことを基準に考えているので、現在学校が取り組んでいるキャリア教育についての理解できていないと思う。(中井委員)

アンケートの中に、家庭学習をもっとという意見があるが、それぞれの家庭の事情があるので、これ以上の量は必要ない。より充実させたい家庭があるなら、その家庭で問題集を用意したら良いのではないのか。(丸茂委員)

家庭学習の現状を調べて、参考になることを紹介して共有できたらどうか。

体罰アンケートの集計時に来校した際、自主的にあいさつする子が少なく感じた。将来大人になってもあいさつはとても大事なことで各家庭でのしつけも大事だが、学校でも働きかけて欲しい。(中津川委員)

あいさつはキャリア教育第一歩。社会に出ても大事なこと。(丸茂委員)

アンケート調査①から⑭は子どもの様子に対する保護者の評価であって、学校への要望ではない。保護者から見た子どもへの評価であり、もう少し頑張ってもらいたいという気持ちの表れ。⑮は学校への要望。アンケート調査結果は、学校を評価したものではない。

たとえば、元気に頑張っている学校へ行っている、体力作りは頑張っているが、もう少し勉強を頑張りたいと思っている親が多いのではないかと。アンケート結果を見て、学校が責任を負う必要はないと思う。(鈴木厚会長)

令和5年の教育課程は現在再構築中。いろいろなご意見をいただき、教育目標を決定後、ホームページに載せる。(影山主幹教諭)

アンケート結果の分析は会長の意見の通りだと思ふ。

子どもたちの自己評価が高いことが良かった。

授業の内容は一昔前とは全然違う。今の授業は調べ学習を行い、その結果に対して先生が個々にアドバイスをし、グループ討議を行っている。自分たち世代が受けた教育と現在は違い、自分たちの考えをまとめ伝える事を習得できるような授業。保護者は現在の授業で子どもが頑張っていることが理解しにくいのではないかと。それが、評価の違いに繋がっていると感じる。キャリア教育についても同様。学校経営方針を受けて、現在の主体的に学ぶ授業が行われていると思う。(飯尾智弘委員)

5年生の授業参観を見て、感じたこと。自分たち世代は先生サイドから知識を教えられだけの学習だったが、今は知識を得た後に自分の意見をまとめ、タブレットを使ってプレゼンを行い、グループ討議をする中身の濃い授業を行っていることに驚き感動した。この濃い授業内容を行うための準備を行っている先生方の激務が想像できる。

まとめた内容を発表する時に声が小さいことが気になった。まとめた内容より自信を持って大きい声で伝えることが大事。(鈴木厚会長)

4年生の授業でもタブレットを使ってのプレゼンを行っていた。(川井委員)

3年生の授業で、屋台について調べ学習のため秋に見学に行ったことを、昨日のこのように発表していた。内容は魅力的で引き込まれるととてもすばらしい内容。屋台の作られた背景を知って、他の屋台についても調べてみたいといっていた。飯尾智弘先生や池村先生が教えてくれたことも伝えてくれた。(飯尾忠弘副会長)

現在の教育目標は平成20年度に制定され、最近キャリア教育がプラスされた。教育目標「心やさしく」「ねばり強く」「学び続ける子」より基本方針「夢を持って高め合いたくましく生きようとする子」現在の曳馬小学校の子の教育目標にむいている。(別紙参照)

例えば、「苦しくても負けない子」は教師に向けた言葉、子どもに対してはもう少し明るく楽しいイメージの言葉の方が伝わりやすい。

令和6年には曳馬小学校創立150周年を迎える。新たな学校目標でのグランドデザインを編成したい。「ひ部」「く部」「ま部」から「学習推進部」「安心安全部」に変更しこの2つの部を両輪

にしていく。耐えるイメージから能動的な目標に変えていきたい。

登校班についてアンケート結果についての分析(別紙参照)傾向が掴みきれなかった。浜松駅周辺で集団登校を行っているのは東小学校と曳馬小学校のみ。集団登校を継続しながらPTAが中心となり、自律登校を含めた登校の在り方を検討していく。(竹内校長)

広範囲で現状理解が追いつかない。持ち帰って理解し、次回意見をいただきたい。

個人的に危惧していること

・部活動による先生方の負担が大きい、学級以外の子どものふれあいの場となる部活だから、外部委託はどうなのか。

・集団登校……1、2年生は上級生のおかげで安心して登校できていることに感謝の気持ちを持つよう指導する。上級生は自分たちがしてもらったことを下級生に返していく。子供の成長につながる。(鈴木厚会長)

中学校の部活動は外部委託になっている。小学校はどのようになっているのか。

上級生の保護者は自分の子どもが1、2年生の時に登校する際上級生に見守ってもらったことを忘れていないのでは。低学年の意見を注視して検討した方が良いのでは(中田委員)

中学校部活の外部委託は土日を地域が担い、平日は教師が担う。小学校の部活は平日のみの活動なので、委託はしない。(竹内校長)

自分は静岡中部の生まれで、静岡県東部で教師をしていたが、静岡県西部しか小学校の部活動を行っていない。(飯尾智弘委員)

静岡県のなかで浜松だけが部活をおこなっている

(竹内校長)

部活動を外部に委託することは賛成できない。(鈴木厚会長)

家庭科や書道の補助に入っているような手伝いが出来たら良いと思う。(中田委員)

自律登校について現在PTA内で話し合っている。次年度の役員が秋にトライアルして、アンケートをとって検討していきたい。PTA役員は任期が2年なので、2年目のメンバーを中心に自律登校へ向け、話し合っていく予定。(中津川委員)

いじめ防止基本方針(別紙参照)

6ページ、9ページ、13ページ(9)2つめの○、3(1)2つめ○

役割として運営協議会が組み込まれているので、読んでおいて欲しい。ご意見があればいただきたい(竹内校長)

責任が増えていくが、気楽に意見を言っていきたい。熟議の内容について協議の結果、全員意義なくこれを承認した。(鈴木厚会長)

(2) 夢育やらまいか

今年度の予算 6 万円は下記の内容で有効に活用したことを報告。

- ・スクールカウンセラー
- ・はりはら学習費用
- ・図工・部活動等の講師への謝礼

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和 5 年 5 月 2 日(火)午前 10 時 20 分から多目的ホールで開催する旨の報告あがった。